

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①「 道徳の時間 」や スマイルハート (11の生活目標)等をきっかけにして、全教育活動を通じて道徳教育を推進する。②相手を思いやり、自己有用感を高めたりするために、異学年交流を計画的に取り入れ、振り返りを充実させ、実践につなげる。
担当	特活・カリマネ評価部

豊かな心に関わる本校の状況	今年度の目標
<p>・昨年度のY-Pアセスメントでは、どの学年も概ね安定した分布図が出た。しかし、児童一人ひとりのデータの変容を細かく分析すると、自己肯定感が下がっている児童がいる。</p> <p>・学習状況調査では、約9割以上の児童が「挨拶を自分からしている」と答えている。自発的な挨拶への意識が瀬戸ヶ谷小学校の良い伝統として受けつがれていると言える。また、「学校は安心できる場所だと思いますか」との質問に対して、9割近い児童が安心できる場所と答えている。「自分のことが好きですか」や「自分にはよいところがあると思いますか」の質問には、『好き』や『よいところがある』と答えた児童がやや低めの割合となった。</p> <p>・スマイルハート(11の生活目標)を掲げ、学級の実態に応じて取り組み、豊かな心を育成する活動を行っている。</p> <p>・コロナ禍であったので、ペア学年での縦割り活動を実施していたが、今年度は全校での縦割り活動を計画している。</p>	<p>スマイルハートやなかよし活動を通して、相手を思いやる心の育成をし、一人ひとりの自己有用感を高めることを目指す。</p>
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳カードを用意し、授業の中で気付いた価値を書き溜めておくようにする。 ・道徳科の授業の中で気付いた価値を、日常生活の中で実践できるようにするため、スマイルハートの取組を工夫して実施する。 ・縦割り活動を定期的に行うことで、より相手を意識して活動できるようにする。 ・スマイルハートの取組や縦割り活動など、「活動して終わり」にならないように、いつも活動の振り返りをする場面をつくる。 ・縦割り活動の他に、ブロック学年・ペア学年での活動を計画的に行う。(体カテスト・宿泊学習・など)
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳カードを用意し、授業の中で気付いた価値を書き溜めておくようにする。 ・道徳科の授業の中で気付いた価値を、日常生活の中で実践できるようにするため、スマイルハートの取組を工夫して実施する。 ・縦割り活動を定期的に行うことで、より相手を意識して活動できるようにする。 ・スマイルハートの取組や縦割り活動など、「活動して終わり」にならないように、いつも活動の振り返りをする場面をつくる。 ・縦割り活動の他に、ブロック学年・ペア学年での活動を計画的に行う。(スポーツテスト・表現週間・卒業式に向けての活動など)